

✦1947年3月7日 田浦基督教会館
日本基督教団信徒会結成
✦教団機構改正時に実体を失う
✦2014年10月29日 第39回教団総会
再結成130人発起人会
・主にある一致
・賜物の分け合い
・会員相互の交わり
・日本基督教団の福音伝道に寄与する

日本基督教団 全国信徒会会報 2019年度 年度報告書

発行日：2020年10月30日
発行者：日本基督教団全国信徒会
発行所：〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
全国信徒会ホームページ
<http://www.uccjshintokai.org>
事務局 E-mail:
isaosuzuki2012@krd.biglobe.ne.jp

年度報告によせて

全国信徒会 会長 望月克仁

活発な活動報告ができるまでには至っておりませんことをお詫びしながら年度報告のご挨拶を申し上げます。

教団伝道推進基本方針が4年前に可決され、その具体的推進に「方針展開検討小委員会」と「機構推定検討小委員会」が設置されました。基本方針の三本柱は①「祈祷運動 共に祈ろう」②「信徒運動 共に伝えよう」③「献金運動 共に献げよう」を掲げ、全信徒が一致して、この方針の展開に参加することを願い、毎月第三主日を「日本伝道の推進を祈る日」と制定して、昨年12月より「信徒の友」に各教区によって選ばれた教会名を掲載して祈ることを始めました。すでにこの活動に、アメリカ長老教会からの献金を含めて諸教会・伝道所から470万円を超える献金が伝道推進室に届けられています。この中心にあります活動が信徒運動であり全国信徒会も、この活動の一端を担うべく期待されています。生憎、コロナ禍の襲来で、具体的なご案内ができておりませんが、只今、「信徒の友」の掲

載と、教団ホームページでのご案内を「教団新報」にも掲載させて頂くように進めております。

昨年度の活動は「プロテスタント日本伝道160年記念大会としての第2回 全国信徒大会」であり、東京信徒会が準備展開を担ってくださいました。2019年10月14日（月・祝）午後1時から、台風の中を155名が日本基督教団富士見町教会に集まり、教団議長石橋秀雄が開会礼拝で「伝道の命と力の回復」を熱く説教され、二部のフォーラムの主題は「青年伝道」を掲げ、司会増田将平牧師（青山教会）、講演をKSKの大嶋重徳先生がしてくだり、大勢の感動が呼び起こされました。この具体的な事例紹介を齋藤篤牧師（深澤教会）が映像を見せながらお話してくださいました。160字メッセージの参加8教区76編、大会アンケート58件が寄せられました。別紙の大会報告をお届けします。是非お読みください。今回の信徒大会も東京開催となり、関東、東海、大阪からもご参加いただきましたが、東京から遠いところにお住みの皆様には申し訳ございませんでした。一日もはやく全国展開が出来ますことを願っています。皆様のお祈りにお覚え下さい。有難うございました。

= 2019年度 年度報告書 目次 =

1. 望月克仁 全国信徒会会長 挨拶（1頁）
2. 阿久戸光晴 東京信徒会名誉顧問 祝辞（2頁）
3. プロテスタント日本伝道160年記念大会・第2回全国信徒大会 報告（3頁～6頁）
4. 全国信徒会2019年度会計報告・会計監査報告（7頁）
5. 全国信徒会ホームページ委員会報告（8頁）
6. 全国信徒会事務局報告（9頁）
7. 添付：①第2回全国信徒大会プログラム
②第2回全国信徒大会_完全記録盤ブルーレイ・ディスク（パソコンで再生）
③年会費 個別受領記録用紙・振替用紙
④出版局【SOSセブン】&図書目録・新刊書案内

※「SOSセブン」は山北宣久理事長からのアピールです。

信徒の皆さんに出版局の優良図書を是非読んでいただきたい。購入していただきたい。

2020 年 10 月 20 日

祝 辞

—コロナ禍の試練に負けず伝道に励む主イエス・キリストの信徒の諸兄弟へ—

現在、私たちは新型コロナウイルスの猛威にさらされています。世界中の人類はこの種の細菌やウイルスの試練に歴史的に何度も脅かされてきました。召された方々も多い昨今言葉を選ばなくてはなりません、コロナ禍は決して悪いことばかりではありません。その種の感染症に耐えることをとおして、人類は衛生環境を飛躍的に向上させ近代化を促進してまいりました。今回のコロナ禍でも私たちは「押印文化の見直し」に始まり、「(オンラインによる) 地方の再認識」や「人間の共同性・協働性」を学びます。しかしそのこと以上に、主イエス・キリストはいかなる苦難の盃をも飲み干し、十字架の死でさえも避けられなかったことを思い返します。その主を父なる神はよみがえらせ、主のしもべらは教会を建てました。教会こそ「主の十字架と復活の証の場」であり、「人間の協働性を確認する場」であります。

現在、私たちの教会礼拝も、出席が制限され、讃美の歌声も祈りも信仰告白も発声を自粛させられております。ある神学者の方は今回の試練を「キリスト教会にとって現代のバビロン捕囚」と呼んでおられますが、正に至言です。私たちは主に従い、試練を黙々と耐えて受け止め、このウイルスの終息次第、会堂を再び満ち溢れさせましょう。

日本基督教団全国信徒会は、その日を待望しつつ、種まきとしての伝道に励んでおられます。希望や展望を失っているかに見える「この世」に、真の信仰・希望・愛のメッセージを送り続ける皆さんに心から敬服するとともに、誰よりも主は皆さんのお働きを喜んで見ておられることでしょう。最後に、日本基督教団全国信徒会の諸兄弟に、二つの聖句をお贈りいたします。

「今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」(旧約聖書・ネヘミヤ記 8 章 10 節後段)

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」(新約聖書・ローマの信徒への手紙 12 章 1 節)

注：旧約聖書・ネヘミヤ記 8 章 10 節後段の「主を喜び祝う」は「主が喜び祝う」とも訳せます。

栄光在天 福岡女学院大学学長（日本基督教団福岡中部教会出席）阿久戸光晴

プロテスタント日本伝道 160 年記念大会
第 2 回 全国信徒大会 報告

東京信徒会副会長 中澤基行（東京山手教会）

I. 準備委員会（会場教会・出席人数）

第 1 回：2018 年 12 月 15 日（富士見町・10 名）、第 2 回：2019 年 1 月 26 日（富士見町・7 名）、
第 3 回：2/23（富士見町・6 名）、第 4 回：3/23（富士見町・9 名）、第 5 回：4/6（富士見町・9 名）、
第 6 回：4/27（富士見町・8 名）、第 7 回：6/1（青山・8 名）、第 8 回：6/22（青山・9 名）、
臨時：7/6（東京山手・5 名）、第 9 回：7/13（青山・11 名）、拡大：9/14（富士見町・17 名）

II. 大会当日

1、日時 2019 年 10 月 14 日（月・祝）13:00～17:00

2、場所 日本基督教団 富士見町教会

3、主題聖句

「後の世代に語り継ごう 主への賛美、主のお力を 主の成し遂げられた驚くべき御業を。」詩編 78.4
「しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう。」ルカによる福音書 5.5 b

4、キャッチフレーズ

- ①主のご恩寵に感謝して、あつまろう ②160 年プロテスタント日本伝道を、いわおう
③更なる伝道推進に向けて、こぎだそう

5、プログラム 総合司会：中澤基行（東京山手教会）

第 1 部 プロテスタント日本伝道 160 年記念礼拝

司式：古屋秀樹（愛宕町教会） 奏楽：千葉 仁（富士見町教会）

聖書：テモテへの手紙二 4.1～5

説教：「伝道の命と力の回復」石橋秀雄（日本基督教団総会議長・越谷教会牧師）

第 2 部 青年伝道を主題に（記念講演・事例紹介・フォーラム） 司会：増田将平（青山教会牧師）

- 1）開会の挨拶 望月克仁（日本基督教団全国信徒会会長）
- 2）記念講演 「若者と献げる喜びの礼拝」大嶋重徳（KGK 総主事・鳩ヶ谷福音自由教会牧師）
- 3）事例紹介 「10 人がひとりのために」齋藤 篤（深沢教会牧師）
- 4）フォーラム アンケートを受けて（記念講演と事例紹介の感想・ご意見などへの回答）
- 5）閉会の挨拶・祈祷 奥山盾夫（信徒大会準備委員長・東京信徒会会長）
- 6）記念撮影

6、参加実績

- 1）出席者数 155 名（男性：53.5%、女性：46.5%、内訳：会員 54 名、会員外 101 名）
- 2）出席教会 6 教区（関東・東京・西東京・神奈川・東海・大阪）より 61 教会
- 3）参加者分類 教師 13.5%、信徒 83.8%、学生 2.0%、一般 0.7%。



Ⅲ. 評価反省会

日時：2019年11月2日（土）13:30～15:40 会場：富士見町教会 CSルーム

出席：池田節子（鎌ヶ谷）、岩澤 嵩（銀座）、河村富雄（聖ヶ丘）、澤田竹二郎（白金）、杉浦 進（番町）、鈴木功男（目白）、鈴木半一郎（原町田）、鈴木秀信（船橋）、鈴木優子（小松川）、清野康彦（富士見町）、高頭みちる（柿ノ木坂）、中澤基行（東京山手）、西田寛子（鳥居坂）、松崎雄一（東京山手）、村上信男（小石川白山）、和田洋子（銀座） 16名

1、信徒大会以降の経過報告

1) 資料に基づき中澤基行委員から以下が報告された。

◆大会出席者数：155名（男性：53.5%、女性：46.5%、内訳：会員54名、会員外101名）。

出席教区：6教区（関東・東京・西東京・神奈川・東海・大阪）。

◆出席教会：61教会（関東4、東京34、西東京10、神奈川7、東海1、大阪1、教団教会以外4）。

◆参加者分類：教師13.5%、信徒83.8%、学生2.0%、一般0.7%。

◆160字メッセージ参加：8教区（奥羽・東北・関東・東京・西東京・神奈川・東海・兵庫）。

◆160字メッセージ参加数：76編（奥羽1、東北1、関東5、東京51、西東京9、神奈川6、東海1、兵庫1、教団教会以外1）。

◆大会認知上位（アンケート「大会を何で知りましたか」）：

信徒会事務局から29.1%、会員から17.9%、牧師から15.2%。

◆出席者年齢層：70歳以上58.0%、60歳以上75.4%。大会出席者数155名。

2) 資料に基づき高頭みちる委員から「全国信徒会特別会計第2回大会仮集計報告」がなされた。

収入866,940円（全国信徒会本会計より繰入れ816,940円、大会特別会計への献金50,000円）

支出866,940円（謝礼340,000円、プログラム（1700部）印刷代313,940円、送料64,898円、

他148,102円）。また当日の席上献金（147,910円）を席上献金会計として記載することとした。

なお当献金は当日、教団伝道推進のために献げられた。

2、信徒大会の振り返り

1) 当日回収したアンケートの内容（回収枚数37枚、回収率23.9%）と、その後の準備委員他からのメールによる意見（20名、21件）を共有した。中澤基行委員により以下のように集約された。

【評価】（良かった点・成果）

①参加者1人1人が気づき（≡刺激）を与えられた。

伝道への情熱、信仰継承、あなたはその「誰か」になるか、本質的、具体的、実践的、多様性、若者との寄り添い方、映像活用等。

②気づきが拡散されつつある。

動きが出そうな感じ、役員会での報告、伝道推進基本方針の浸透、地区ホームページへの掲載、大会プログラムの拡散等。

③準備・運営が主の守りのうちに整えられた。

台風直後にも関わらず155名参加、きれいな集会、有意義な時間、時間を十分に活用、信徒会の奉仕に感謝、大会プログラム高評価等。

【反省】（今後の課題）

①参加者が目標を下回った。（目標400名）

台風の影響、高齢化、動員計画、大会チラシの配布先、他の行事との重複、若年者の参加少。

②「全国」を名乗る実質をどう作るか。

関東地区以外は東海・大阪のみ、全国事例紹介できず、全国信徒会の持続性を持った発展等。

③大会内容の更なる充実。

映写の改善、手持ち資料の配布、問題の深い掘り下げ、ワーシップの実演、150 年大会イメージソング「いつまでも続く教会」の継続活用等。

2) 意見交換（テーマ：大会を振り返り、今後はどう繋げていくか）

- ・第 1 回全国信徒大会並みの参加者を集めるには、準備期間が短かった。開催時期も再考が必要。
- ・当日参加の 155 名は、目標 400 名の中から主によって選ばれた 155 名だと考え、感謝する。
- ・全国信徒会、東京信徒会の実態を平素から PR する必要があるのではないか。
- ・過去からの紆余曲折を経て全国信徒会は再結成された。まだ始まったばかりである。全国信徒会の持続性を語るのではなく、私たち一人ひとりが信仰の喜びを隣の人に伝えていく事が大事。「あなたは何になるのか」の問いに応えていきたい。一人ひとりが全国信徒会である。
- ・今大会の準備、運営を東京信徒会が担えたことは良かった。
- ・教団の全国信徒会と教派毎の全国信徒会（例：バプテスト派新生会の全国信徒会）の違いを明確に説明できなかったのが個人的な反省点である。
- ・旧教派の繋がり強い。教派、教理を超えて一つとなれる全国信徒会を目指したい。十字架は一つ。
- ・「自分は何をするのか」を常に自分に問いかけて行動していきたい。当教会（東京山手）では明後日に行われる壮年会修養会にて、今大会のビデオを上映し、共有する予定である。
- ・当教会（柿ノ木坂）では近隣の教会にも呼びかけて、大嶋先生の講演会を開こうという動きが出てきている。
- ・150 周年大会時をイメージし、会場の収容人数を考慮して参加を躊躇した方もいたのではないか。
- ・150 周年大会は年齢層も幅広く参加し、各教区の代表者も話をした。同様に各教区の話が聞きたかった。2009 年開催の「日本伝道 150 年記念信徒大会」と 2015 年開催の「再結成第 1 回全国信徒大会」のイメージが重なってしまった。全国信徒が集まる会が 2 年ごとにあっても良いと思う。
- ・170 周年記念大会を今から目標にしても良いと思う。
- ・今大会の主題を「青年伝道」にしたことは良かった。教派を超えた課題である。十字架一つに集まろうという動きが大事。
- ・東京信徒会の集会で、各教会の取組事例を紹介する時を持っても良いのではないか。日頃の事例はメールで共有しても良い。
- ・全国信徒会は教派を超えた信徒の集団。しかもその信徒は与えられた恵みを感謝し、力強く証する集団でなければならない。今大会プログラムに信徒の証しは掲載されなかったのは少し残念。参加人数を気にすることはない。
- ・信徒会が盛んに行われている山梨、埼玉の信徒会との交流を持ってはどうか。全国信徒会に 36 名加盟している東中国教区蕃山町教会も対象の一つ。
- ・「全国信徒会は何をやるのか」の問いに一言で答えられるようにする必要がある。神様からいただいた賜物を活かし、情報交換できるような全国信徒会にしたい。

3、その他

1) 東京信徒会から全国信徒会「大会特別会計」への献金の件

鈴木功男委員より、今大会の準備・運営が東京信徒会に委嘱されたことに感謝し、東京信徒会から全国信徒会「大会特別会計」に感謝献金を献げる提案がなされ、全会一致でこれを承認した。金額は東京信徒会三役に一任することとした。

2) 大会記録映像の紹介

鈴木功男委員より、大会記録映像が紹介され、感謝をもってこれを共有した。なお映像を保存したブルーレイディスクと残余の大会プログラムが希望者に配布された。

Ⅳ. (参考) 大会当日アンケートのコメント抜粋

1、講演会について

- ・ (**歳) 大嶋先生の生の声をきけた。伝道の情熱を感じることができた。力をもらった。
- ・ (89 歳) 信仰告白を中心に神様が共にいて下さることを語ってくださった事。
- ・ (71 歳) 他教派の牧師先生のご経験の中での貴重なお話でとても興味が持てました。
- ・ (76 歳) 青年の魂を取りこぼしてきていないかの言葉に目を覚まされた。
- ・ (24 歳) 私自身青年ですが気付かされる点が多くあり、非常に参考になりました。
- ・ (81 歳) 教会 信仰 信徒の 信仰生活において、現在にあることを客観的に見る事が出来た。
- ・ (61 歳) 大変ていねいに実行が行われていると思われました。
- ・ (**歳) ユーモアとお話の奥に深い伝道の想い、ご経験を知ることが出来ました。
- ・ (73 歳) 大嶋先生の具体的な、誰でも理解できる言語での聖書の言葉がとてもよかった。
- ・ (49 歳) 青年によりそう重要性が分かった。終わりの時間のない集会の重要性が分かった。
- ・ (83 歳他) わかり易いお話だった。課題が確認できた。具体的であった。基本的・本質的な話だった。
- ・ (69 歳) 青年たちを夕食に招く事 ・ 良き交わりをもつ事を教えられました。
- ・ (77 歳) 「わたしたち年輩の信徒が若い頃、教会の外に出て熱心に福音伝道をしたこと、その姿を今の若い人々にみせること、示すこと、救いを求めたあの姿をみせること」その通りと思いました。

2、事例紹介について

- ・ (**歳) 映像なので、わかりやすかった。
- ・ (71 歳) ワーシップについては、未だ参加したことがないので、勉強になりました。
- ・ (76 歳) 青年が自ら伝道を担う。青年に自主的に企画し、我は支える。
- ・ (40 歳) 全国団体なのだから、事例を集めて紹介してほしかった。
- ・ (63 歳) 色々な教会の礼拝のやり方を拝見して参考になりました
- ・ (73 歳) ワーシップの活動に少し心が動きました。極端な変化にはなじまないが、徐々にとり入れたい。
- ・ (83 歳) スライドが暗かった。教会の歌が良かった。動画も良かった。
- ・ (51 歳) 礼拝形式の話しや映像を見ても、教会として何をしているのか、分かりませんでした。
- ・ (80 歳) 思考の多様性を学ばせて頂きました。
- ・ (77 歳) 深沢教会の若者が自主的に教会と礼拝にかかわる良い事例と思います。

3、フォーラムについて

- ・ (**歳) 教団にはない大嶋先生の話しで、力強く、新しい風をかんじた
- ・ (71 歳) 若い先生の心が信仰が燃えていると分かり良かったです。
- ・ (24 歳) 補足説明をいただくことができ感謝でした。
- ・ (40 歳) 講演者と信徒代表がディスカッションするなど、問題を深く掘り下げてほしかった。
- ・ (63 歳) 色々な質問や意見に耳を傾けてくださり、良かったです。
- ・ (66 歳) フォーラム いろいろな人の意見をきけていいです。

4、大会全体について

- ・ (**歳) 若い人の出席が少ないと思った。しかし皆で心を1つにあわせて、青年伝道について確認できたことが良かった。もう少し休憩を入れた方がいい。あとお茶とかお菓子があるといいな～。
- ・ (71 歳) 私の信仰は、いかなる状況か、考える良い機会になりました。
- ・ (60 歳) きれいな集会だった
- ・ (24 歳) 初めて参加させていただきましたが、非常に有意義な時間でした。主に感謝いたします。
- ・ (51 歳) 「全国」を名乗る実質をどうやって作っていくか、課題ですね。
- ・ (66 歳) 良い大会でした、これからも充実して続けてほしいと思います。

日本基督教団全国信徒会 2019 年度会計報告 (2020 年 3 月 31 日現在) 会計 高頭みちる

2019 年度 全国信徒会 通常会計 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

収 入		支 出	
年会費(現金)32 名	96,000	信徒大会へ	847,000
年会費(振替)50 名	265,000	交通費	3,000
献金	1,500		0
ゆうちょ利息	17		0
信徒大会より戻し	663	振替手数料	5,864
合 計	363,180	合 計	855,864
前年度繰越	822,509	次年度繰越	329,825
総 計	1,185,689	総 計	1,185,689

プロテスタント日本伝道 160 年記念大会・第 2 回全国信徒大会 特別会計

自 2018 年 12 月 15 日～至 2020 年 3 月 31 日 (2020 年 3 月 31 日現在)

収 入		支 出	
全国信徒会通常会計より繰入	847,000	謝礼	340,000
信徒大会への 献金	50,000	交通費	20,000
前年度より(会場費)	3,000	準備費(会場費)	30,500
大会席上献金	147,910	印刷費	47,488
		チラシ印刷代	37,368
		プログラム印刷代	313,940
		送料(宅急便他)	80,894
		諸雑費(茶菓代・事務費)	21,956
		楽譜使用料等	7,191
		教団伝道推進のために献金	147,910
合 計	1,047,910	合 計	1,047,247
		収支差額(通常会計へ戻し)	663
総 計	1,047,910	総 計	1,047,910

2019 年度 全国信徒会 ホームページ会計 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,335,804	2019 年度維持費	0
		振込料	0
		合 計	0
		次年度繰越	1,335,804
総 計	1,335,804	総 計	1,335,804

*繰越内訳 (2020 年 3 月 31 日現在)

ゆうちょ銀行	1,516,874	通常会計残高	329,825
手許現金	12,219		
郵便振替口座	136,536	ホームページ会計残高	1,335,804
	1,665,629	合 計	1,665,629

監査報告書

会計年度：自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日

日本基督教団全国信徒会
会長 望月克仁 殿

監査の概要

私たちは、2019 年度日本基督教団全国信徒会通常会計及び第 2 回全国信徒大会特別会計並びに特別会計(ホームページ会計)について、2020 年 10 月 30 日監査を行いました。その結果、諸帳簿並びに証憑の保存、財務管理全般にわたって、正確かつ適正であることを認めます。

2020 年 10 月 30 日

監事 宮下 重康

監事 佐久間文雄

宮下 重康 佐久間 文雄

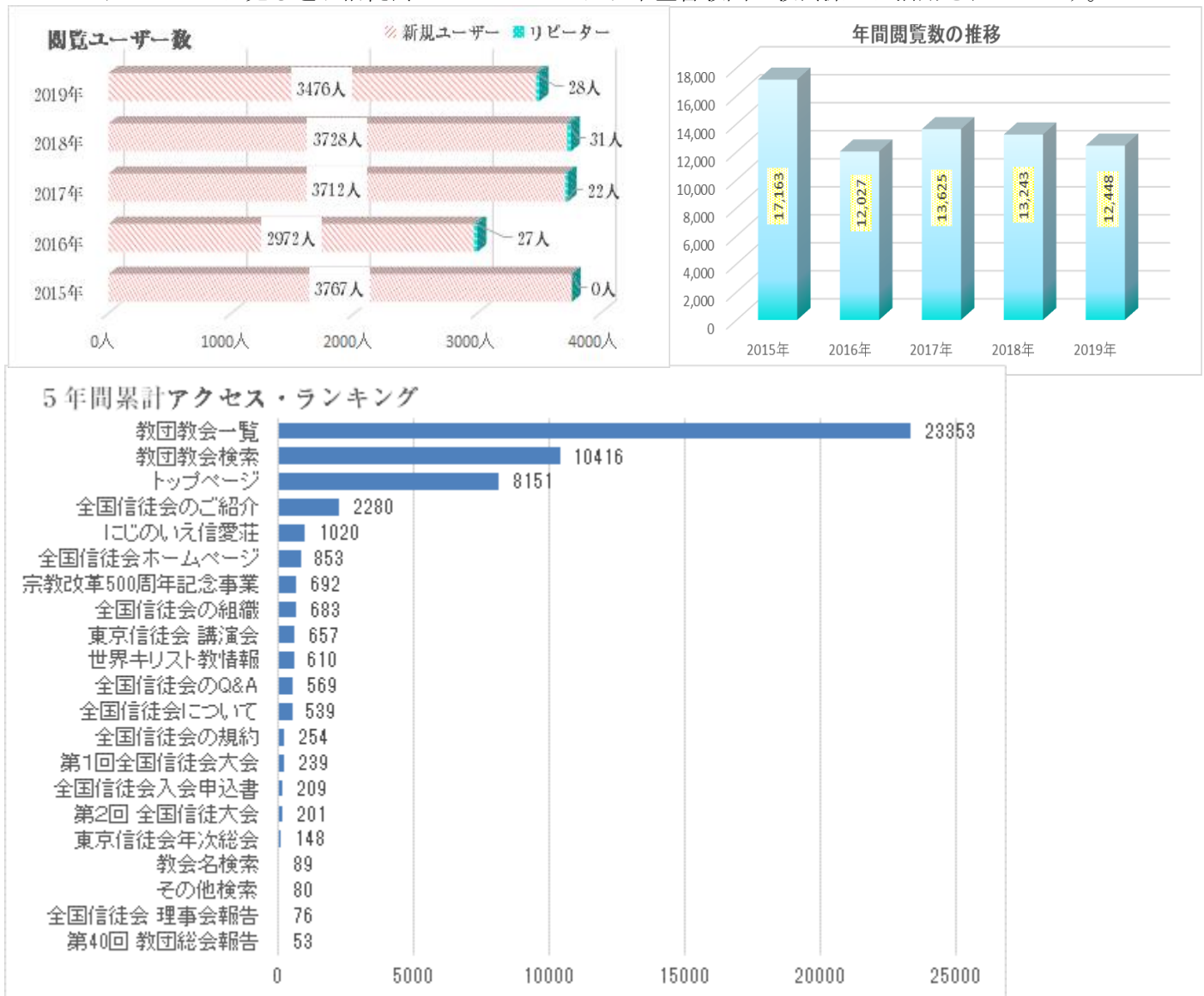
全国信徒会ホームページ活動報告

- 全国信徒会ホームページの主要機能：日本基督教団の教会探
 - ・ 日本基督教団全国信徒会の広報機能（紹介、集会案内、規約など）
 - ・ 地域ごとの日本基督教団所属教会の案内
 - ・ 日々の聖句
 - ・ 世界キリスト教情報へのリンク

● 全国信徒会ホームページアクセス統計資料

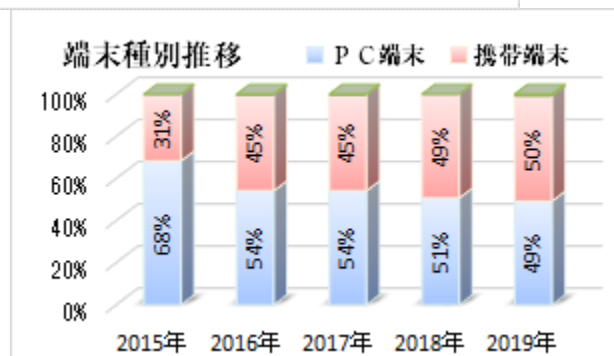
As Of 2020/3/31

- ・ 2016年度以降ほぼ一定数のアクセスですが2019年12月以降急激に減少しています。
- ・ 訪問者数（ユーザー数）もアクセス数推移とほぼ同様の傾向、新規訪問者の割合はほぼ100%。
- ・ ランキングに見る通り信徒会のホームページは日本基督教団の教会探しに活用されています。



● 端末種類の推移

- ・ 2015年度は68%がパソコン系の端末からの訪問でしたが、2019年度は携帯端末とほぼ半々になりました。
- ・ 携帯端末の機種別で見ると、iPhoneが63%、アンドロイド端末は37%でした



全国信徒会事務局報告 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 10 月 30 日)

■ 2019 年度入会者歓迎 (敬称略)

清野康彦 富士見町 191-0053 東京都日野市豊田 4-26-9-202 080-3459-4131
 佐々木和子 逗子 370-3347 群馬県高崎市中室田町 2112 穂和の園 090-8684-1579
 松田町子 柿ノ木坂 152-0023 東京都目黒区八雲 4-12-8 03-3718-1870
 高頭みちる 柿ノ木坂 152-0033 東京都目黒区大岡山 1-24-18 03-3718-7338

■ 2019 年度退会者 (敬称略) これまでのお交わりを感謝して

蓬田清吉 (池袋西)、飯野元次 (阿佐ヶ谷)、本山幸子 (鎌ヶ谷)、八嶋 康 (沼津)。

■ 全国信徒会教区別会員状況 (2020 年 10 月 30 日現在)

北海	奥羽	東北	関東	東京	西東京	神奈川	東海	中部
0	0	1	6	67	7	6	4	0
京都	大阪	兵庫	東中国	西中国	四国	九州	沖縄	合計
0	8	2	36	2	0	1	1	141

■ 全国信徒会第 4 回総会 (理事・評議員 合同) 以降の動静

- (1) 全国信徒会第 4 回総会 2018 年 10 月 24 日 会場：池袋メトロポリタン H・カシオベヤ
 - ①第 3 号議案 任期満了に伴う新役員
 会長：望月克仁、副会長：津村正敏、鈴木功男、
 理事：江本義一、奥山盾夫、中嶋暁彦、高花富夫 (書記)、金刺英雄、朝岡瑞子 (会計)
 評議員：國吉常喜与、河田直子、森章一、中林克彦、清藤城宏、古屋秀樹
 監事：佐久間文雄、宮下重康
 - ②退任：(評議員) 馬場忠徳、松田俊彦
- (2) 2019 年 4 月 12 日臨時理事・評議員通信協議：「会計担当理事交代に関する件」
 教団常議員並びに全国信徒会再結成から会計担当理事を務められた朝岡瑞子姉(船橋)より
 退任申出を受け、高頭みちる姉(柿ノ木坂)に交代に関する件。承認。
- (3) 2019 年 6 月 14 日 全国信徒会会報 発行
- (4) 2019 年 10 月 14 日 (月・祝) 第 2 回全国信徒大会開催 13:00～17:00 富士見町教会
 プロテスタント日本伝道 160 年記念大会として開催、激甚台風一過、出席 155 名。
 大会報告に関しては 3 頁～6 頁、大会特別会計については 7 頁に記載されています。
 なお支出「謝礼」科目に会場費を謝礼として計上してあります。
- (5) 2019 年 11 月 2 日プロテスタント日本伝道 160 年記念大会完全記録盤 BD デイスク制作
- (6) 2019 年 12 月 4 日「信徒の友」1 月号「プロテスタント日本伝道 160 年記念大会」掲載
- (7) 2020 年 4 月 1 日 海外教会宛「教団ニュースレター 407 号」日本伝道 160 年記念大会掲載
- (8) 2020 年 10 月 7 日 第 42 回教団総会 2021 年に延期により全国信徒会総会開催未定。

■ 会費納入のお願い：

「個別会費受領記録」と「振込用紙」を同封しました。よろしくお願いします。

■ 全国信徒会事務局体制について (受託・東京信徒会)

- (1) 奥山盾夫、鈴木功男、高花富夫、高頭みちる、中澤基行、西田寛子、馬場忠徳、池田節子。
- (2) 全国信徒会ウェブサイト担当：馬場忠徳 ※別紙参照「全国信徒会ホームページ運営報告」。
- (3) 事務局住所：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本基督教団事務局 気付
- (4) 事務局専用 E メールアドレスは外国からの迷惑メール殺到に付き当初のアドレスは廃止。
 鈴木功男副会長アドレスでお願いします。⇒E メール：isaosuzuki2012@krd.biglobe.ne.jp